



[CLUB OFFICE] 京都 Y M C A 〒604-8083 京都市中京区三条柳馬場角 ☎ (075) 231-4388



今月の聖句

なぜ、あなたは自分の造り主を忘れ/天を広げ、地の基を据えられた主を忘れ/
滅びに向かう者のように苦痛を与える者の怒りを常に恐れてやまないのか。

旧約聖書 イザヤ書 51章13節

会 長/田 中 升 啓
副会長/五十嵐由紀
田 中 雅 博
書 記/瀬 本 純 夫
山 口 雅 也
会 計/左 近 宏 崇
橋 森 昌 史

クラブ主題

絆の力で越えていこう!!!

～一人よりふたり、二人より全員で!～

- 国際主題: I P Henry Grindheim (ノルウェー) "Let us walk in the Light-together." 「ともに、光の中を歩もう」
- アジア太平洋主題: A P Tung Ming Hsiao (台湾) "Respect Y's Movement" 「ワイズ運動を尊重しよう」
- 西日本区主題: R D 大野 勉 (神戸ポート) 2022年に向けて「心身の健康づくりから、クラブの健康づくりへ」"Healthy mind & healthy body make healthy club"
- 京都部主題: D G 竹園 憲二 (京都ZERO) "All Hands on Deck!"
- メネット主題: RSD 中道 京子 (神戸) 「生きる! 希望を分かち合いながら」"Live, sharing hope!"

【12月報告】

西日本区
強調月間

1月 IBC
DBC

IBC/DBC 締結クラブとの交歓だけでなく、交流を深めて
協働事業を検討しましょう。

金澤市郎 国際・交流事業主任 (京都クラブ)

年間強調
目標PR

ワイズメンズクラブの活動をホームページ・ブリテンでクラブ内外の人達に
事あるごとにアピールしましょう!

伊藤 剛 西日本区 広報・情報委員長 (京都トゥービークラブ)



在籍者数 36名
広義会員 1名
第一例会 32名
メネット 0名
特別メネット 0名
ゲスト 0名
第二例会 32名
メネット 11名
ゲスト 1名
出席率 97%



BFポイント

切手 0g
切手累計 0g
現金累計 0円
E F 0円
J W F 0円
EF・JWF累計 0円



ニコニコ

第一例会 7,000円
第二例会 0円
合 計 7,000円
累 計 143,000円



ファンド

合同委員会 11,000円
合同委員会2次 5,000円
ワインファンド 18,860円
パンファンド 1,000円
大山ハム 13,000円
年越しそば 16,800円
合 計 65,660円
累 計 736,659円



献血

献 血 0cc
成 分 0名
累 計 0cc
成 分 累 計 0名



130周年募金

第一例会 3,275円
第二例会 0円
合 計 3,275円
累 計 151,094円

東日本大震災復興・支援募金

第一例会 3,676円
第二例会 0円
合 計 3,676円
累 計 30,813円



明けましておめでとうございます

会 長 田 中 升 啓

皆様、新年明けましておめでとうございます。昨年7月より会長
を務めさせていただき、おかげさまで順調に半年が過ぎました。下半
期も今年35周年を迎える事を念頭に、メンバーの皆様との絆を深めて全員で進んでい
きたいと思っております。

さて、上半期を振り返りますと各事業委員長を中心にそれぞれが的確に、また個性的に
事業を進めていただき充実した半年だったと感じています。印象的なワイズデーでのハー
フタイムパレードや、昨年12月に急遽ではありますが、台北アルファクラブを訪問して
交流を深めることもできました。以前私が台北に初めて訪問した時よりも、確実に関係が
深まったと実感しておりますし、今年11月3日の35周年記念例会にお越しいただくのが
とても楽しみになりました。

しかし現状を振り返ってみると、充実した活動の中にも気になるところが無いわけでは
ありません。会長という立場からかもしれませんが、例会にメンバーゲストを呼んでこよ
うという雰囲気を感じにくくなっている点です。それは今までの例会がある意味とても居
心地の良い雰囲気であることにより、充実しているからこそ満足してしまい、その意識が
薄れてしまっているのではないかと考えています。一人一人の方がゲストを呼び易い雰
囲気になり、そして意識してもらえるように、私自身も一人のメンバーとして今まで以上に
メンバーゲストを呼ぶべく動いていくつもりではありますが、これこそ「一人よりふたり、
二人より全員で!」となることを望んでいます。やはりたえず新しいメンバーを加えて、
新しい風を吹かせて今後も進んでいく必要がありますし、とにかく全員でメンバーゲスト
を呼ぶ意識を持っていただき、来ていただいた方を全員で迎えるような雰囲気になればと
思っています。新しいメンバーを迎え入れるには、まずはメンバーゲストに来ていただく
ことが第1歩です。

そして後半は例年の事業とともに、35周年記念例会に向けた活動もいよいよ活発になっ
てくるかと思えますし、今こそ全員の力を結集する時だと思っています。まさに今期の主
題にありますように、～絆の力で越えていこう!!! 一人よりふたり、二人より全員で!～
の意識で下半期も楽しく、また力強く活動できますようによろしく願いいたします。

聖句の解説 私たちがどこから来た何者なのか。そんなことを考えていると、変な人と思われ
るかもしれません。しかし若い日に自分の将来を考え、いったい自分は何の為に生まれてきた
のかと悩んだことのある人はいるのではないのでしょうか。聖書では、人は何者なのかを預言者
を通して神の言葉として述べています。聖書は、人は神によって造られた被造物であり、あな
たを造られた方がいるのだという事を忘れて自分勝手な生き方をするなど教えているのです。

強い義務感を持つ 義務はすべての権利に伴う

"TO ACKNOWLEDGE THE DUTY THAT ACCOMPANIES EVERY RIGHT"

メンバースピーチ

会計 椿 森 昌 史

本日の主役は3人、トップバッターは昨年入会され、いつも笑顔の蘇理さんでした。大学でボクシングを始めて1回生でレギュラーになるなど頑張ったが、試合のダメージで意識不明の重体、死の淵をさまよひ、意識は回復したものの、下半身不随により半年間の車椅子生活など、波乱万丈な経験から、人生においての4つの教訓を得られた事。興味深い話に、さらに親近感が増したように思います。2番手は吉井次期会長、次期にやりたい事、メンバー同士、クラブの将来について話し合い、次世代に繋げていきたい事や、35周年記念例会をキャピタルクラブのプライドと成長を見てもらう例会としたい事など、次期を見据えた思いが伝わる、少し緊張のスピーチでした。トリアは、35周年記念例会実行委員長の山田(英)さん、35周年は、クラブにとって良い意味での分岐点となるよう、クラブがさらに良くなって行くには、どうすべきかを徹底的に話し合う1年とし、最終的には提言をまとめた事など、クラブに対する思いと熱意のこもったスピーチ。色々な思いが伝わり、気持ちが引締まる例会になったように思います。

東京クラブ紹介

東京ワイズメンズクラブ 会長 木 村 光 晴



京都キャピタルワイズメンズクラブの皆さま初めまして。2017-2018 東京ワイズメンズクラブの会長を仰せつかっております木村と申します。

入会して3年目ですが、1年目よりクラブ会計を担当させていただき、前期は副会長を務めあつという間に会長の要職を拝命させていただきました。

伝統あるクラブの会長に就任した事の重大さを改めて感じている今日この頃ですが、会長としてまず意識していることは、会員の皆さまがワイズの活動や例会などを楽しんで頂き、一人一人がいきいき出来るクラブにすることです。その為に例会なども伝統を守りつつ楽しんで頂ける内容を皆さまと考え、実行して行く事により将来の会員増強につながるのではないかと思っております。

東京クラブのメンバーは、私の年代は少なく世代間の開きがあるかもしれませんが、現在ワイズの基礎を作ってくられた先輩方々がいてこそ今の伝統ある東京クラブがあるかと思っております。今後も会長としての仕事を、残りの期間責任もって務めて行こうと思っております。

来年3月24日～25日の合同例会は、東京で開催されます。楽しい会にしたいと思っておりますし、メンバー一同皆さまのお越しを心よりお待ちしております。是非京都キャピタルの皆さまのご参加宜しくお願い致します。



東京クラブからのクリスマスカード

ファミリークリスマス例会

Yサ・ユース委員 西 川 欽 一

今年も恒例のコメットさんマゴメットさんによるキャンドルサービスで始まったファミリークリスマス例会は、愛宕の間で、メンバー32名、特別メネット2名、メネット11名、コメット・マゴメット14名、ゲストで五十嵐亜紀さんの60名の方々の参加で開催されました。

「きよしこの夜」の斉唱、開会点鐘、ワイズソング斉唱、そして会長挨拶とプログラムどおりに進行し、ファミリーゲスト紹介も、今年入会の蘇理さんが、初めてクリスマス例会を経験されるとは思えない落ち着いた司会で進行され、加藤藤主事のクリスマスメッセージと食前感謝に続いて、次期会長の吉井さんによる乾杯の発声で食事と歓談の時間に入ると、6つに分かれた各テーブルで、楽しく歓談が始まりました。

歓談中、会場が暗転すると、サンタクロースとトナカイの登場です。もちろんサンタは田中会長。そして、トナカイは五十嵐副会長です。サンタからコメットやマゴメットへのプレゼントが手渡され、クリスマス例会はさらに盛り上がり上がっていききました。

今年のアトラクションは、石倉さんと倉見さんの軽妙な司会で楽しく進行されました。ジェスチャーゲームなのに、なぜかしゃべってしまう出題者の田中会長を誰も制することができず、ジェスチャーゲームのはずが連想ゲームのようになっていました。クイズ「たなかますひろ」では、田中会長のことをとてもよく知ることができる楽しいクイズでした。

福引抽選会は田中雅博さんと香山さんの司会で進行され、クリスマスPTが厳選した賞品を、あらかじめ参加者の皆さんの名前が書かれた紙片を、白い抽選箱から引いていくという責任重大な仕事を、まずは私が、次々期会長の初仕事として担うことになりました。高級賞品になると、吉井次期会長にその重責を任せてクジを引いていただき、今年が目玉賞品、32インチ液晶テレビは仁科さんが当選されました。そして、今年は、最後に逆転チャンスがあり、クラムチャウダーの缶詰などに当選した方に敗者復活の抽選で、この逆転チャンスの賞品、スチーム式加湿器を当てたのは左近さんでした。

福引が終わると、「諸人ござりて」を斉唱、閉会点鐘で閉会の時間を迎えることになりました。今年の12月は、ここ数年に比べて寒い日が多い中、メンバーとファミリーのたくさんの歓声と笑顔であふれた楽しく温かい例会はあつという間に3時間が過ぎていきました。



IBC・国際CS事業

台北アルファクラブ訪問

台北アルファクラブから平成29年12月13日(水)～14日(木)に開催するに地域奉仕活動に東京クラブと共に参加して欲しいとの相談を受けました。内容は台湾の山岳地域の村を訪問し、村内の10～15軒の家族に対して、食糧・日用品雑貨・布団等を寄付し、極寒の冬を健康に乗り越えて欲しいとの願いを込めた活動でした。

このプログラムは台北市から往復10時間の悪路を走破し実施される事業であり、日本から訪問し、山岳地帯まで同行することは難しいと考え、前日に開催される前夜祭に東京クラブと共に参加しました。

この活動に関する費用は全体で3,000米ドルで、東京クラブ、京都キャピタルクラブの両クラブには各500米ドル計1,000米ドルの寄付の依頼が来ていましたが、今回は台北アルファクラブが全額支出され、両クラブは名前だけを出して頂ければよいと言うことで、近い将来、東京クラブ、京都キャピタルクラブが台北アルファクラブと同じように、国際CS+トライアングルIBCプログラムを実施する場合は、台北アルファクラブが500米ドルを支出したように扱うことで同意し、参加しました。

前夜祭には、台湾区理事、アジア地域会長も参加され盛大な前夜祭になり、田中会長の流暢な台湾語のスピーチで大いに盛り上がりました。

時節柄年末の長旅は難しく、1泊2日だけの訪問でしたが、私たちの誠意も十分に伝わり、急遽、昼食会を開催して頂くなど台北アルファクラブから心温まるおもてなしをしてくださり、有意義な交流が持てたと思います。次年度に開催される35周年記念例会には大勢のメンバーで参加して頂き、さらに親睦を深め、新たな国際的な地域奉仕活動が実施できることを期待しております。

訪問日 12月13日(水)～14日(木)
訪問先 中華民国 台北市
前夜祭 海霸王花博中山店
12月13日(水)19時～21時

昼食会 上海郷村 12月14日(木) 12時～14時

参加者
京都キャピタルクラブ 田中会長、田中副会長、
石倉 EMC 委員長、山口メネット会長、
山田交流・ファンド委員長
東京クラブ 比奈地康晴様 佐藤茂美様
台北アルファクラブ
メンバー 27名(台湾区理事含む)

交流・ファンド委員長 山田 隆之

台北アルファクラブの皆さんとお会いして！

会長 田中 升 啓

一泊二日の弾丸行程でしたが、空港についてすぐに台北アルファクラブの皆さんとお会いでき、とても密度の濃い二日間でした。私の台湾語の挨拶も通じたかどうかは分かりませんが、少しは喜んでいただけたと思っています。台北アルファクラブは今回の国際CSプログラムを含めてしっかりした活動もされており、しかも陽気で楽しい方々です！ 今後のトライアングルIBCでの活動がとても楽しみになった二日間でした！

いざ！ 台北へ！

EMC委員長 石倉 尚

昨年の国際大会に続く人生2度目の台北、IBC締結後初めての交流です。この慌ただしい年の瀬に一泊二日の弾丸ツアーを執行した山田隆之交流委員長を先頭に田中升啓会長、田中雅博副会長、山口メネット会長と私の5名での強行でした。桃園空港での出迎えを受けYMCAへ。東京クラブの比奈地さんと佐藤さんと合流し今回の国際CS事業についてのお話を伺いました。夜の壮行会では多くの台北アルファクラブのメンバーの出迎えを受け、93歳の元お医者さんを筆頭に年配の方の大変上手な日本語とユーモアでとても楽しい交流ができました。二日目の昼食もご一緒させていただき、来年のキャピタル35周年には沢山で来ていただけることを願って台北を後にしました。

あっという間の交流の旅でしたが、とても充実した交流ができました。

PS. 山田交流委員長の行くという決断に感謝です。謝謝！

実り多い訪問

副会長 田中 雅 博

昨年3月以来、二度目の台湾訪問です。二度の食事会を通して熱烈な歓迎を受け、旧知の方との再会、新しい方との出会いを楽しみました。前回と比べても、かなりお互いの距離が縮まったと感じました。短い時間ではありましたが、実に実り多い訪問でした。

来年はこちらが大いに歓迎し、そしてまた次に訪問する機会があれば、ぜひとも多くの方とともに掛けて交流を楽しみたいと思います。

念願の故宮博物院に行きました。わずかな時間ではありましたが、いろんな意味で凄いなと感じました。感謝。

楽しい2日間

メネット会長 山口 弘子

1泊2日の台北アルファクラブ訪問でしたが、13日の前夜祭では大勢のメン・メネットが参集され、東京クラブ比奈地さん・佐藤さんとキャピタル5人を歓迎してくださいました。残念ながらCSプログラムには参加できませんでしたが、田中会長の台湾語の挨拶がとても喜ばれました。そして来期キャピタル35周年アピールにも良い反応があったとおもいます。

あわただしい旅でしたが、海外のワイズメン・メネットにお会いする事もおおいに刺激になり、楽しい2日間でした。

台北アルファクラブの皆様有難うございました。

南投県仁愛郷都達村への日帰り旅行

東京クラブ IBC・DBC 委員長 比奈地 康 晴



14日の南投県仁愛郷都達村への日帰り旅行は往復12時間！（帰り台中に寄り、台湾区現理事等にも面談しましたので、朝7時に立ち、夜7時過ぎに台北のYMCAホテルに帰着！）かかりましたが、天気も回復し、途中山間部に入ると道路の悪いところもありましたが、概ね快適に行くことができ、

現地の村長さん、支援対象のお年寄り、子供達、学校関係者とも親しく接することができ、長年支援を続けている、台北アルファクラブさんの御努力も素晴らしいものと感心いたしました。

返す返すも!、京都キャピタルクラブの皆さんが参加出来なかったのは残念でした。来年もよろしくお願いいたします。



田中会長のスピーチ原稿を謝さんが代読



台北アルファ・京都キャピタル・東京クラブの皆さん

田中会長様
比奈地交流会委員長様

この度貴社と弊社三社連合の南投県仁愛郷都達村へのCS事業に参加して頂き誠にありがとうございました。東京クラブの比奈地様と佐藤様は現地へ12時間かかって日帰りの厳しい旅をして頂き、感心致しております。台湾中心の山奥まで出掛け、原住民と昔の日本語で話しができ、貴重な経験をされたと思います。厳しい道程ですが天気が良かったので、台湾山奥の美しさも満喫して頂いたと存じます。

また、京都キャピタルクラブの皆様は年末の忙しい時に、わざわざ五人もきていただき一日の滞在でお帰りなさいましたが、交流事業に真面目に取り組まれていることに弊社のメンバーが感服致しております。今後ご提携頂き、よろしくお願い致します。

台北アルファクラブ 孫 森エン

台北アルファクラブからのお礼状



今回のイベントのチラシ



南投県仁愛郷都達村村長からの感謝状



台北アルファクラブ会員のサイン

人生の節目

人生の節目

内 廣 健

1933年10月19日生まれの私は10月例会でクラブのメンバー諸氏に誕生日を祝って頂き、楽しく84才の馬齢を重ねた処です。

私の長い人生を振り返りますと、'57年4月に社会人としての東京勤務から始まりまして、'63年の結婚を皮切りに、'65年長女誕生、'67年に関西方面の仕事を任され京都での生活となり、'71年には待望の長男誕生。

ささやかながらも人生の彩りが徐々に染まっていく日々を楽しみながら歩んで居たつもりだったのですが……平坦に思われていた道程には、時として予想だにできなかった落とし穴があるものですね。

可愛かったヤンチャ盛りの長男が突然小児ガンの宣告を受け8年7ヶ月の生活を断ち切られてしまいまして、その時の記憶だけは今でも昨日の出来事のように鮮明さを増すばかり。

闘病生活を看取った10ヶ月間、幼いながらも自分の死を悟ってしまったのか「お父さん、お仕事ガンバッテネ。僕が守ってあげるから」等と言いながら去って行った息子の存在が、今では家族の絆となり天と地を結ぶ絆となつて居るのかもしれない。

この悲しみの経験をしましてからは温かい家庭の愛こそが生きる原動力だと気付かされ、互いに家族を思いやる気持ちだけは年々強くなっていくようです。

煩わしい人間関係も仕事の心配事も、なるべく家庭には持ち込まないように心掛けてきた私。

「人生を計るのは、生きてきた長さではなく深さである」との名言に習い、家族と共に夢をもって人生を掘り進む力があれば実年齢など関係ないと強がってみたいのです

が、これも老いの空元気と言うのでしょうか。

ともあれキャピタルメンバーの家族のような優しさに包まれている私はなんとという果報者だろうと、幸せに浸っている今日この頃です。

一步踏み出して良かった

蘇 理 裕 司

10年前は、私が勤めていた大手ハウスメーカーを退職した年でした。

その頃、仕事一筋！とは程遠いものでした。

午前仕事、昼からはジムでトレーニング、夕方事務所へ戻り、夜は道場で稽古という、いかにも無責任サラリーマンの様な暮らしをしておりました。

40歳になり、そろそろ、ブラブラしてはいけいではないか？との後ろめたさが限界に達し退職を決心したわけですが……

本格的に木造住宅を勉強するため、町の工務店に飛び込みました。

ハウスメーカーとは全く勝手の違う、注文木造住宅を素人が監督をするわけですのでもう大変です（現場で鍛えられる！と超スパルタ教育でした）。

現場に泊まりこみ、事務所に泊まりこみは当たり前、若い職人さんにはどやされ、貯蓄を食いつぶして行く日々。なかなか、緊張感のある日々を送らせていただきました。

お陰様で最速で木造住宅のノウハウを身につけさせていただき、5年前に独立させていただきました。

全くもって遅いデビューではありますが、いまでは一步踏み出して良かったと思っています。

35周年実行委員長を拝命して

35周年実行委員長 山 田 英 樹

キャピタルクラブ周年の実行委員長という大役に身も震えるばかりでございますが、精一杯務めさせていただきます。どうぞよろしく申し上げます。

先般のクリスマスファミリー例会、例年通り家族中心で、温かくて笑顔にあふれ、そしていつものように優しさで満たされた本当に素敵な例会でした。

でも、そんな例会に大きな時の流れを感じたのは私だけだったでしょうか？

2004年のクリスマス例会、一家総出でインクレディブルの仮装をした時、下の息子は3歳。最も小さい参加者の一人だったのですが、いつのまにか誰よりも大きな参加者になってしまいました。間違いなく月日は流れているようです。

変革期を迎えている京都キャピタルクラブ。35周年では若い力に中心となって頑張りたい。そんな

風に考えています。もちろんこの場合の若さというのは年齢というよりはワイズメンとしてのキャリア、しいて言うなら会長未経験の方々、とでもいいでしょうか。どんな考えやアイデアが飛び出してくるのか？全く想像もつきませんが、なによりも楽しみにしています。

そしてそんな若い力を経験豊かなメンバー全員がサポートする。さしずめ『やってみなはれ』の精神とでもいのでしょうか。これもまたキャピタルクラブの良さ伝統の一つなのだと考えています。

35周年期に吉井次期会長が登板されること、きっとここにも大いなる意味が隠されているのだと思います。キャピタルクラブの未来を担う若い力を代表する吉井次期会長のお考えを具現化すべく粉骨砕身努めてまいります。なにとぞメンバーの皆様の多大なるご協力をお願い申し上げます。

EMC 忘年会

副会長 五十嵐 由紀

クリスマス例会の余韻も冷めやらぬ12月28日、恒例の「EMC忘年会」が22名参加のもと「プレノタート」で開催されました。会費は村田オーナーご協力により何と2,000円！美味しい味噌鍋をいただきました。途中からは広義会員の安部さんも駆けつけられて、久々に会ったメンバーからは歓声があがっていました。EMCということで、全員から「この1年の振り返りと来年への抱負」のスピーチがあり「キャピタルクラブに所属できている事への感謝」などが多く語られていました。

吉井次期会長からの「メるけれども帰れない1本締め」(笑)のあとは、これまた恒例の「カラオケファンド」が始まり、つい2週間前に台北での任務を果たされた山田隆之交流・ファンド委員長がカラオケの雰囲気大いに盛り上げてくださいました。

1人1人が、プライベートなことも含め1年間の想いを披露したり、意外な曲を歌ったりと、例会などとはまた違った交流が深められた素敵な年末となりました。

YMCA NEWS

ネパールチャリティーバザー

ネパール YMCA 支援のための国際協力募金拡充を目的に「ネパールチャリティーバザー」を開催いたします。耐震補強・施設改修工事に伴い、例年とは実施内容を多少変更しての開催となります。ご支援の呼びかけ、ご参加をお願いいたします。

日時 2月12日(月・祝) 午前11時～午後3時
場所 京都 YMCA 地階・1階(一部)
目的 ネパール YMCA が運営する児童養護施設支援への募金活動
内容 物品バザー、ネパールカフェ(予定)

お問合せ・お申込み

京都 YMCA (TEL) 075-231-4388 / (FAX) 075-251-0970
(E-mail) kyoto@ymcajapan.org

HAPPY BIRTHDAY

メン	五十嵐由紀	1月11日	倉見 直樹	1月22日
	西川 欽一	1月23日	仁科 保雄	1月31日
広義会員	安部 英彦	1月21日		
メネット	八木 未穂	1月4日		
	正子・ダルマパーラン	1月6日		
	金原 康代	1月9日	左近 佳津	1月9日
コメント	山口 遼子	1月5日		

HAPPY ANNIVERSARY

該当者なし

編集後記

皆様、明けましておめでとうございます。

今期も半分が過ぎ、慣れてきたような気もしますが、気を抜かず残る半分も頑張っていきたいと思います。

本年も何卒宜しくお願い致します。

広報・プリテン委員長 宮崎順巳

第6回 役員会議事録

2017年12月26日(火) 19:00～21:00
ウェスティン都ホテル京都 平安の間

〈西日本区・京都部報告〉

1月14日(日)トゥービークラブ熊本復興支援チャリティプロレス

1月15日(月)第6回 PR 委員会

次期京都部部长 パレスクラブ川上さん

〈YMCA 報告〉

Y カップ協賛募集の件

YMCA ブランディングに関しての説明について

2月12日(祝)ネパールチャリティーバザー

〈三役会報告〉

他クラブ周年事業へのお祝い金について みやびクラブ周年例会には参加しないが、お祝い金を渡す
リーフレット作成に関して 下半期に作成する
半期総会議長について

〈各事業委員会報告〉

・YMCA サービス・ユース事業委員会

ネパールチャリティーバザーについて

Y カップバスケット大会協賛広告の件、法人・個人5,000円
2事業中止に伴う今後の取り組みについて

・YMCA リトリートセンター特別事業委員会

オータムフェスタ決算報告→販売収益12,013円+2万円を
YMCA に送金

リトセンチャリティーゴルフの件

IYC 参加者推薦の件

・地域奉仕・環境事業委員会

各種献金の報告

2月25日(日)京都部チャリティーボウリングの件

TOF 例会の内容：YMCA ブランディングについてのお話
TOF に関する報告

メタセコイヤフェスティバル 5月20日(日)

・ドライバー事業委員会

開催済み例会の報告 ニコニコ報告

1月以降～2月第2例会までの例会内容の予定報告

・交流・ファンド事業委員会

ファンド実績の報告。今後のファンド事業について。

交流事業、台湾訪問の報告。参加者5名

支出お土産代17,500円

・広報・プリテン事業委員会

1月号2月号の骨子の確認。

東京クラブとの原稿のやりとりは1月から。

・EMC 事業委員会

三つ折 EMC リーフレットの作成について：下半期に作成
例会出席状況の報告。新入会員候補の件。忘年会出席22名

ファミリーお祝いの報告。予算支出の報告。

・クリスマス PT PT 長：五十嵐さん

クリスマス例会：決算報告を年明け早々に作成。

〈審議事項〉

・亀井さんへのお悔やみについて 承認

・各事業委員会の半期報告半期決算報告について 承認

・会計報告について 承認

〈その他〉

次回三役会 2018年1月19日(金)19:00～

次回役員会 2018年1月23日(火)19:00～

